

環境保全

地球環境を考え、様々な研究・支援活動に取り組んでいます。



南港発電所 (ISO14001外部認証を取得)

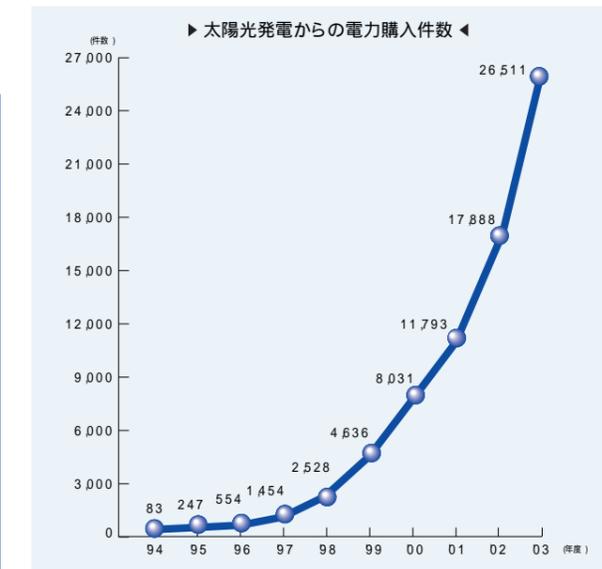


当社がお届けする電力が「エコリーフ環境ラベル」を電力会社で初めて取得しました。これは、製品に関する定量的な環境負荷データについて第三者による認証を受け、開示するものです。

CO₂の排出量の削減による地球温暖化の抑制や、循環型社会を実現するための様々な取り組みを通じて、地球環境の保全に取り組んでまいります。



汚染土壌の浄化 (関電ジオレ(株))



太陽光発電パネル (南港発電所)



マングローブに関する研究



「関西グリーン電力基金」の助成による太鼓山風力発電所 (事業主体・京都府)

地球温暖化防止のために多彩な活動を展開

地球温暖化問題に対応するため、関西電力は、CO₂排出量の削減に積極的に取り組んでいます。発電時にCO₂を排出しない原子力発電の推進、火力発電の熱効率向上、排煙脱炭技術の開発、さらには、原子力発電の比率が高い夜間の電気を利用した高効率電気利用機器・システムの開発・普及など、さまざまな取り組みを実施しています。また、タイでのマングローブ植林技術の研究など、海外でも多彩な活動を展開しています。

「エコリーフ環境ラベル」の認証を取得

お客さまがお使いの関西電力の電気が、「エコリーフ環境ラベル」認証を電力業界で初めて取得しました。この環境ラベル付きの電気は、地球温暖化問題に対する関西電力の様々な取り組みの結果、1 kWhあたりのCO₂排出量が0.261 kgと、国内電力会社で最も低いレベルとなっています。

新エネルギーの普及・開発

関西電力は、風力や太陽光発電等の電力購入や「関西グリーン電力基金」への支援などを通じて、新エネルギーの普及促進を図っています。2003年4月に施行された「RPS法」(「電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法」)をうけ、これまで以上に積極的に新エネルギーの開発・普及に取り組んでまいります。

循環型社会への対応

関西電力は、中長期的に埋立処分される廃棄物の排出量ゼロ達成をめざし、3R活動(産業廃棄物等の発生抑制< Reduce >、再使用< Reuse >、リサイクル< Recycle >)に取り組んでおり、事業全般にわたる廃棄物の減量・再資源化を推進しています。この他、グループ事業においても、汚染された土壌の浄化事業や、ダムに漂着する流木のリサイクル事業などを行っています。